

news etter



Government of Nepal

Japan International
Cooperation Agency

プロジェクト名：
持続的森林管理を通じた気候変動
適応策プロジェクト

プロジェクト期間：
2022年10月～2027年9月

ガンダキ州での気候変動適応策-デモンストレーション活動報告-

ネパールでは1990年代からコミュニティ林業という森林管理の方式が採用されています。違法伐採や違法な農地転用などで劣化した国有林の再生・保全を、地域の利用者グループ（Community Forest User Group: CFUG）に委ねる代わりに、国有林をコミュニティ・フォレスト（Community Forest: CF）と位置づけ、森林資源の利用をCFUGに認める制度です。その一方で、ネパールは地理的に気候変動の影響を受けやすく、住民の生活圏でも山火事や土砂災害、洪水などが頻発しており、適応策の実践が急務となっています。2026年8月には氷河の融解が原因と指摘されている大規模な土石流が発生し、甚大な被害を及ぼしており、ますます適応策実践の必要性が高まっています。

本プロジェクトは、CFにおける森林資源を利用した気候変動適応策を推進する技術協力プロジェクトです。連邦レベルで政策ツールの改正を行うコンポーネント1と、適応策のデモンストレーション活動をCFで実施するコンポーネント2の二つの活動を実施しており、第3号ではコンポーネント2の内容を詳しくご紹介しました。

本稿では引き続きコンポーネント2の活動の進捗をご報告します。2025年12月に連邦と州の関係者が合同で、デモンストレーション活動の合同モニタリングを実施し、その成果を踏まえてプロジェクトの新たな展開となる対象地域の拡大が決定されました。また、2025年8月から12月にかけて実施されたジェンダー平等・社会包摂（Gender Equality and Social Inclusion: GESI）関連の活動についてもご報告します。

1. デモンストレーション活動のカスキ郡・ラムジュン郡への展開

1.1 合同モニタリングとレビューミーティング

2025年8月に開催された第4回合同調整委員会の決定に基づき、2025年12月15日に、連邦政府と州政府の関係者が、シャンジャ郡およびパルバット郡のデモンストレーションサイトを訪問しました。JICA専門家チーム、各郡の森林管理事務所（DFO）、土壌・流域管理事務所（SWMO）が同行し、これまでの進捗やグッドプラクティス、教訓の確認を行いました。その後、同月15日にガンダキ州森林環境省（MoFE）の会議室において、連邦政府およびガンダキ州政府、JICA関係者が一堂に会する「合同レビューミーティング」が開催されました。ミーティングでは、既存3サイトにおけるこれまでの成果を総括するとともに、今後の活動継続とさらなる展開に向けた重要な合意がなされました。



写真1：合同モニタリングの様子
（シャンジャ郡Thamtaletro CF）

1.2 対象地域の拡大：カスキ郡・ラムジュン郡を追加

このモニタリング結果を踏まえ、これまでの実証活動で得られた成果をさらに広げるため、新たにカスキ郡とラムジュン郡をプロジェクトの対象サイトとして承認し、デモンストレーション活動を拡大することが決定されました。これはプロジェクト開始以来最も大きな進展の一つです。同日に、両郡への展開に向けたキックオフミーティングが開催され、活動実施に必要なリソース等について協議が行われました。



写真2：合同レビューミーティング
(ポカラ ガンダキ州MoFE内)

1.3. カスキ郡ラムジュン郡におけるコミュニティ選定

コミュニティの選定にあたっては、両郡を管轄するSWMOタナフ、DFOカスキ、DFOラムジュンが候補地をリストアップし、「気候変動への脆弱性の高さ」「コミュニティの活動意欲」「GESIの推進度」「活動の潜在可能性」などの基準をもとに合同で現地調査を行い、評価を実施しました。その結果、カスキ郡ではThotnekhola CFUGが、ラムジュン郡ではKalika CFUGが選出され、合同ミーティングにおいて全関係者によって承認されました。新しく選定されたCFUGでは、シイタケ栽培やコンポストマーケティング研修、包括的森林火災対策計画の策定支援などの活動がすでに開始されています。

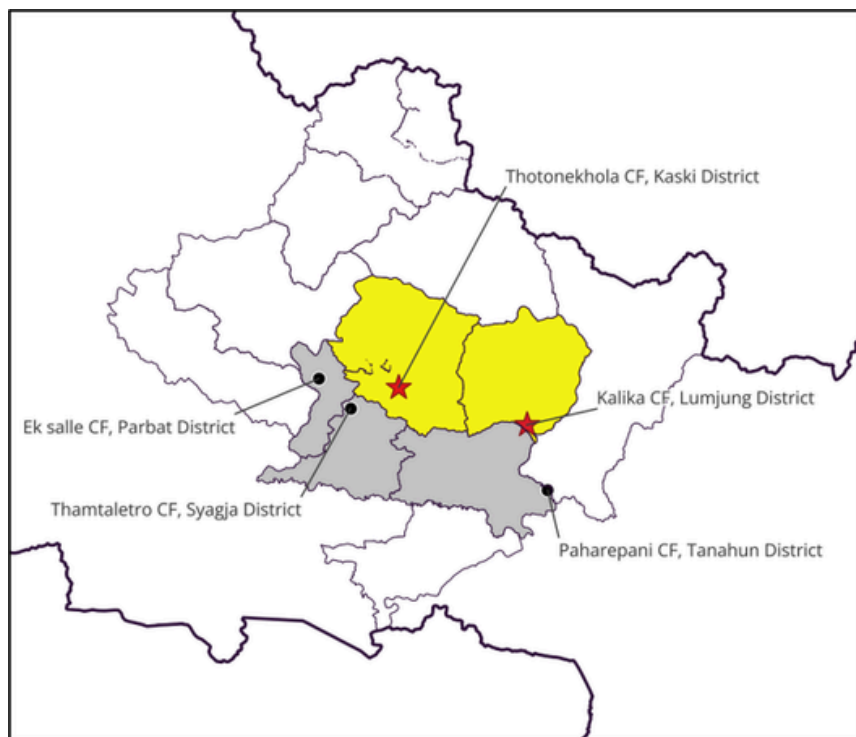


図1：デモンストレーションサイトの位置図 (★印が新規のプロジェクトサイト)

2.GESIに向けた能力開発活動

前回のニュースレターで紹介したとおり、本プロジェクトでは対象コミュニティにおけるGESI促進とジェンダー・アクション・プランのモニタリングの役割を担う実施体制として、関連政府機関の職員から成るGESI タスクフォース (TF) を設置しています。以下、同TFメンバーへの実地研修を通じて、対象CFUGのメンバーに対して行った能力開発活動を紹介します。

2.1 対象CFUGへの能力開発を行った背景

2025年2月に、GESI TFメンバー対象のジェンダー分析手法に係る研修を実施しました。同研修では、フィールドワークとして、GESI TFメンバーが、各対象CFUGの生計向上に取り組むメンバー男女数名に対して、フォーカスグループディスカッション（FGD）を行いました。FGDの結果、すべての対象コミュニティにおいて、ほとんどの女性は自らの意思で生計向上活動に参加している一方、収入の使途など重要な意思決定はまだ男性が担うケースが多く、女性の意思決定力やリーダーシップ、問題解決能力、ビジネススキルの強化が課題として明らかになりました。この結果を踏まえ、GESI TFメンバーは、女性の自信や意欲の向上を目的としたExposure Visitや、起業家精神と基礎的なビジネススキルを学ぶ起業家養成研修、財務管理研修の実施が必要だと分析しました。これらの活動の実施に向けて、特にパルバット郡のDFOとSWMOのTFメンバーから、訪問先や研修のリソースパーソンの候補などの情報がすぐに提案されたため、パルバット郡のEk Salle CFUGメンバーを対象にした活動を一番早く実施できる運びとなりました。これらのTFメンバーは、各活動にも参加し、CFUGメンバーの態度をGESI視点から参与観察も行っています。

2.2 EK SALLE CFUGを対象とするEXPOSURE VISIT

はじめに、2025年8月にExposure Visitが実施されました。訪問先は、ポカラ郊外の広大な土地を活用して、シイタケ栽培、アグロフォレストリー、ヤギ飼育やチーズの製造・販売等を手掛ける女性農業起業家が経営するMaya's Eco-Farmです。このExposure Visitには、プロジェクトのシイタケ栽培活動やアグロフォレストリーに取り組むメンバー（女性8名、男性2名）が参加しました。特に、参加者の女性たちは、同じ女性農民でありながら努力を重ねて事業を成功させている同氏の姿や経験談に触れて、「自分たちにもできる」という自信と意欲を高めました。



写真3：Maya's Eco-FarmへのExposure Visit
(2025年8月:シイタケ栽培)



写真4：Maya's Eco-FarmへのExposure Visit
(2025年8月：ヤギ飼育)

2.3 EK SALLE CFUGを対象とする起業家養成研修

続いて2025年9月には、Exposure Visitの参加者を含む約20名の生計向上活動に従事するメンバーを対象に起業家養成研修を実施しました。クスマ市の企業開発部（Micro Enterprise Development for Poverty Alleviation: MEDPA 従事）の職員をリソースパーソンとして招き、講義形式だけではなくロールプレイを取り入れた実践的な演習を通じて、バリューチェーンやサプライチェーンの仕組みとその重要性について学びました。

[1] EDPAは、ネパール政府が全国で実施している貧困削減・雇用創出を目的としたプログラムで、地域住民、特に女性や社会経済的に脆弱なグループを対象に、起業家育成、技術研修、事業計画策定、市場アクセス支援などを提供しています。現在は連邦政府、州政府、地方政府の協力の下、ネパールのほぼすべての地方自治体で実施されており、クスマ市でも、Enterprise Development Department下にMEDPA 専属スタッフが配置され、MEDPAが実施されています。



写真 5 & 6 : Ek Salle CFUG対象の起業家養成研修 (2025年9月)

2.4 EK SALLE CFUGを対象とする財務管理研修

さらに2025年12月には、これまでの研修参加者を対象に帳簿付けを中心とした財務管理研修を実施しました。同研修では、参加者自身が取り組むシイタケ栽培やアグロフォレストリーの実際の費用や収入を題材として活用し、帳簿管理の基礎や収支の把握方法を学びました。



写真 7 : Ek Salle CFUG対象の財務管理講義
(2025年12月)



写真 8 : Ek Salle CFUG対象の財務管理実践研修
(2025年12月)

2.5 終わりに

ジェンダー分析の結果を踏まえて計画・実施した、上記の活動等を通じて、Ek Salle CFUGの女性たちに変化が見られるようになりました。特にシイタケ栽培・販売に従事する女性たちの自信と意欲が高まり、これまで男性に意思決定をゆだねていた女性たちも、自ら判断し問題解決が図れるようになったと話すなど、女性の主体性（エージェンシー）が発現しています。



[Project Facebook Page](#)

Contact and Address
Project Secretariat Office
Babarmahal, Forestry Complex, Kathmandu, Nepal
Email: CASFoM_Nepal@outlook.com
Mobile: +977-9822797889